

いきいきボランティアグループ⑫ ちゃお

託児を通して子ども達と一緒に成長しています

地域の福祉は行政のサービスと共に、多くのボランティアによつて支えられている。町内で活躍するボランティアグループを紹介します。



中央公民館 記者会見

託児ボランティア活動というのは、お母さんもしかするとお父さんが安心して講座などに参加できるように、小さなお子さんをお預かりし、子ども同士も楽しくふれあえるよう援助する活動のことを意味しています。

活動は主に公民館で開かれる託児付き事業で行つておりますが、希望者があれば六ヶ月前後の赤ちゃんから入園前のお子さんまでをお預かりしております。

メンバーは、阿久比町社会福祉協議会が開催した「託児ボランティア養成講座」を受講した方を中心にお育ての方からお孫さんがいる方まで、小さなお子さんとかわって地域の子育て支援に協力してくれている方ばかりです。活動を始めて三年目となります。参加

託児ボランティア活動というのは、お母さんもしかするとお父さんが安心して講座などに参加できるように、小さなお子さんをお預かりし、子ども同士も楽しくふれあえるよう援助する活動のことを意味しています。

できるメンバーもまだ少なく、多くの企画の手助けがしきれない現状ではありますが、メンバー一人ひとりできることをつないで、お互いに楽しんでいきたいと考えています。

今後も「ちやお」がこれからのお母さんの手助けとなれるように、皆さんのがんばりながら成長できるグループでありたいと思っています。

（代表者 大森 由美）

委員会	
委員長	久保 秋男
副委員長	二井 登喜男
委員	稻葉 景久
委員	大村 文俊
勝山 制	



編集後記

新潟県中越沖地震で被災された方々に、お見舞い申し上げます。

5月の臨時議会で議会だより編集特別委員に選任され、私たち新メンバーは日頃の議員活動、行政側の対応など議会だよりを通して町民の皆様に『読みやすい・わかりやすい』を最大の目標として議会だよりづくりに努力をしてまいります。

資源を大切に！この用紙は再生紙(古紙100%)を使用しています。

